学校番号	３００６

令和２年度　工業科

教科	工業	科目	情報技術基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「精選　情報技術基礎」　（実教出版）						
副教材等	情報技術検定問題集　（実教出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在の社会においては、情報処理分野の基礎知識が必要である。基礎全般を学び、その学習成果を確認するために、１月中旬に実施される「情報技術検定基礎３級」を受検し合格をめざします。

2 学習の到達目標

１．社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。
２．情報技術に関する知識と技術を習得する。
３．工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身につける。
４．全国工業高等学校長協会主催　情報技術検定３級を受検し合格をめざす。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a.関心・意欲・態度	b.思考・判断・表現	c.技能	d.知識・理解
観点の趣旨	情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心をもち，その習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする創造的実践的な態度を身につけている。	諸問題の解決をめざして自ら思考を深め，問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており，情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。	情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解し，情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技能を身につけている。	情報技術に関する基礎的な知識をもち，社会における情報化の進展と情報の意義や役割，情報化社会に生きる技術者としての使命を理解している。
評価方法	・授業を真面目に受けているか ・情報分野について関心があるか ・取り組む姿勢が前向きか ・ﾌｧｲﾙ等の配布資料を整理し提出しているか	・論理的な考えが出来るか ・ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑが理解出来るか ・事象をﾌﾛｰﾁｬｰﾄ化出来るか	・ＢＡＳＩＣﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑにﾌﾛｰﾁｬｰﾄからｺｰﾃﾞｨﾝｸﾞ出来るか ・ﾊﾟｿｺﾝを使ってﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを入力し、実行することが出来るか	・情報一般の用語が習得できたか ・ﾃﾞｼﾞﾀﾙ回路や論理回路の動作等を理解出来たか ・ﾊｰﾄﾞｳｪｱとｿﾌﾄｳｪｱを総合的に理解して、諸問題の解決につなげる事が出来るか

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			A	b	c	d		
1	情報技術基礎の概要	情報化社会のモラルと管理 ・知的財産権，プライバシーの保護，エチケットなど，法的，技術的，文化的な観点で，自分と他人の権利を守ることやモラルの重要性を理解させる。	◎			○	a：情報化社会が、生活の中で活かされている事を理解している。 b：情報社会において、利便性が良くなった一方、問題も起こっている事を理解出来ている。 c：ｺﾝﾋﾟｭｰﾀというものの特徴を理解している。 d：ｺﾝﾋﾟｭｰﾀの発達に伴う社会の変化を知っている。	小テストの結果、授業態度、出欠状況
1	ハードウエア	基本論理回路 〃　　の組合せ 2進数 10 進数 16 進数 論理回路の基礎	 ○ ○	○ ◎ ○ ◎	○	○ ◎ ○ ◎	a：いろいろなﾃﾞｰﾀの表し方を理解している。 b：論理回路を描くことが出来る。 c：論理式を理解し書ける。 d：時間と共に状態が変化するﾀｲﾑﾁｬｰﾄや真理値表に結果を記入することができる。	小テストの結果、授業態度、出欠状況、提出物(ノートプリント)
2	フローチャート	流れ図の記号 ﾄﾚｰｽ いろいろな流れ図 順次・選択・繰返処理	○ 	 ○ ◎ ◎	 ◎ ○ ○	○ ○ ○	a：ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑに基づいた流れ図を描くことができる。 b：ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞの基礎が解っている。 c：順次・選択・繰返し処理の各種処理を理解している。 d：ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞの応用ができる。	小テストの結果、授業態度、出欠状況
2	BASIC	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ言語 各種ｺﾏﾝﾄﾞと、その使い方 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ応用 練習問題	○ 	 ◎ 	 ○ 	○ ◎ ○ 	a：ﾌﾛｰﾁｬｰﾄの図記号を知っている b：ﾌﾛｰﾁｬｰﾄを描く事が出来る。 c：BASIC ｺﾏﾝﾄﾞを理解している d：ﾌﾛｰﾁｬｰﾄを BASIC ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑにｺｰﾃﾞｨﾝｸﾞできる。	小テストの結果、授業態度、提出物
3	PCの構成	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀの構成 情報管理 ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝｿﾌﾄ ﾈｯﾄﾜｰｸ・通信 ﾈｯﾄﾜｰｸ活用のﾏﾅｰ	 ○ ○			○ ○ ○ ○ ○	a：基本構成を理解している。 b：情報の管理方法がわかる。 c：ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ・ｿﾌﾄを知っている。 d：ﾈｯﾄﾜｰｸを用いた通信技術について理解している。	小テストの結果、授業態度、出欠状況、提出物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。